

保証書付

保証書はこの取扱説明書の裏表紙についていますので、
お買い上げの販売店の記入をお受けください。

家庭用

日立衣類スチーマー

シーエスアイ

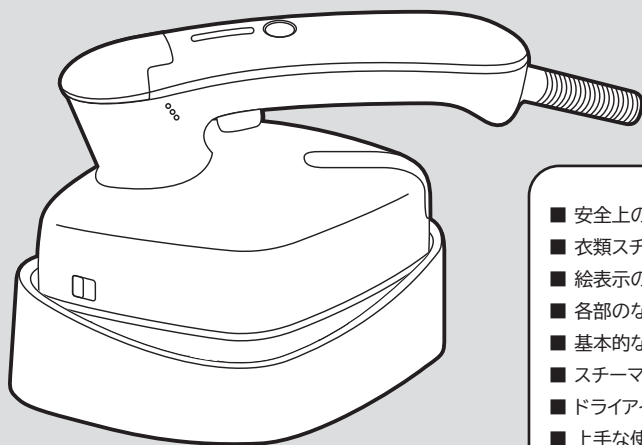
アールエックス

型式 CSI-RX2

このたびは、衣類スチーマーをお求めいただき、まことにありがとうございました。

この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。

なお、お読みになった後は、大切に保存し、必要なときお読みください。



目次

■ 安全上のご注意	2・4
■ 衣類スチーマーについて	5
■ 絵表示の見かたと温度の関係	5
■ 各部のなまえとはたらき	6・7
■ 基本的な使い方	8・9
■ スチーマーとしての使い方	10・11
■ ドライアイロンとしての使い方	12・13
■ 上手な使い方	14・15
■ お手入れ	16
■ 故障かな?と思ったら	17
■ 仕様	18
■ 保証とアフターサービス	18
■ ご相談窓口	19
■ 保証書	裏表紙

- この衣類スチーマーは一般家庭用です。他の用途でのご使用はしないでください。思わぬ事故の原因となります。
- この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
またアフターサービスもできません。
- 地震・火災など緊急時や異常時には、直ちに電源プラグを抜き、ご使用を中止してください。

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示を見逃して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を見逃して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

〈絵表示の例〉

 禁止	 指示を守る	 分解禁止
 電源プラグを抜く	 ぬれた手禁止	 接触禁止

 警告		
改造はしない お客さまご自身で 分解・修理をしない 火災・感電・けがの 原因になります。 (破損や故障した場合は、 修理を販売店へご依頼ください。)	 分解禁止	本体の近くで油煙や スプレー等の可燃ガスが 発生するものを 使用しない 火災や故障の 原因になります。 
子供だけで使わせたり、 幼児の手の届く所で 使わない やけど・感電・ けがをする おそれがあります。 	本体に損傷や 水もれのある場合は 使用しない 感電・けがをする 原因になります。 	蛇口から直接給水しない 水につけたり、 かけない 感電・けがをする 原因になります。 
ぬれた手で 使用しない 感電や火災の 原因になります。  ぬれた手禁止	定格15A・交流100Vの コンセントを単独で使う 他の機器と 併用すると発熱による 火災の原因になります。 	電源プラグは根元まで 確実に差し込む 差し込みが不完全だと、 発熱による火災の原因に なります。 (傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは) 使わないでください。 

⚠ 警告

給水時と排水時は、
電源プラグを抜く



感電の原因になります。

使用時以外は、電源プラグ
をコンセントから抜く



感電や火災の原因になります。

電源プラグのほこり等は
定期的に取り除く



電源プラグにほこり等がたまると、
湿気等で絶縁不良になり、火災の
原因になります。電源プラグを抜
き、乾いた布で拭いてください。

使用中、電源プラグ、
電源コードが異常に
熱くなるときは、直ちに
使用を中止する



ショートや発火の原因にな
ります。

ぬれた手で電源プラグの
抜き差しはしない



ぬれた手禁止



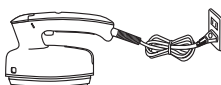
感電の原因になります。

電源プラグ・コードを破損
するようなことはしない



傷つけたり・加工したり・無理に曲げ
たり・引っ張ったり・ねじったり・束ねたり
・重い物を載せたり・高温部に近づけ
たりしない。傷んだまま使用するとシ
ョート・感電・火災の原因になります。

電源コードを
束ねたままで使用しない



火災や感電の原因になります。

電源プラグをコンセントに
差し込んでいる時は、
本体を放置しない



火災の原因になります。

本体にコードを巻き付けたり、
ねじれたまま収納しない



ショート・発火することがあります。

電源プラグを抜くときは、コードを持たず
に必ず先端の電源プラグを持って引き抜く



絶縁劣化による感電や
ショートして発火の原因になります。

電源プラグを抜く

異常・故障時は直ちに使用を中止し、
電源プラグを抜く



火災・やけど・感電の原因になります。

⚠ 注意

スチームを手やひざにあてない
着用した衣類に使用しない



やけどの原因になります。

接触禁止

高温部(かけ面・スタンド・ブラシ
アタッチメント)に手を触れない



やけどの原因になります。

接触禁止

アイロン台使用時は、アイロン台の下に足を入れない

スチームを使用すると、スチームがアイロン台を通過しやけどをするおそれがあります。



安全上のご注意

⚠ 注意

本体内部にピンや針金などを入れない
ゴミを付着させない



感電・ショート・発火の原因になります。

本体を誤った向きでスタンドにおかない



変形・ショート・発火の原因になります。

本体を前後にはげしく動かさない



熱湯が吹き出て、やけどの原因になります。

スタンドを不安定な場所に置かない
熱に弱いものの上に置かない



やけどやけがの原因・
敷物の損傷の原因になります。

湿った衣類にスチームをあてない



水滴が出てやけどの原因になります。

本体はスタンドにおいて保管する



かけ面の傷つき防止やブラシ
アタッチメントの痛みの原因になります。

スチームが完全に止まる前に
スタンドに戻さない



やけどの原因になります。

上水道水以外のリネンウォーター・
香料を含んだ水などを入れない



故障の原因になります。

高級品や特殊加工品などには目立たない所
のためしがけをするかあて布をする



衣類を傷める原因になります。

【特にご注意】ベルベット、アクリル、ナイロン、
カシミア、混紡、絹など

市販のかけ面カバー・
アタッチメントは使わない



誤動作のもとになります。

ランプ点滅中は使用しない



熱湯が吹き出て、
やけどの原因になります。

ボタン・ファスナー等の
固いものにアイロンがけをしない



傷付きのもとになります。

水を注水するときは、本体を置き台に
置いて注水カップを使用する



水がこぼれる原因になります。

ミトンを使用するときは、
スチームを出さない



やけどの原因になります。

熱や湿気に弱い壁や家具などの
近くで使用しない



壁や家具を傷める原因になります。

計量カップを本機以外の用途で
使わない



デリケートな素材の衣類にブラシ
アタッチメントのブラシをあてると、
生地を痛めてしまう可能性がある
目立たない場所で試してご使用ください。



ブラシアタッチメントを取り付ける・はずすときは、
必ず電源プラグをコンセントから抜き、
かけ面が十分に冷めているときにおこなう



やけどの原因になります。

アイロン台使用時は、
アイロン台の下に足を入れない



スチームを使用すると、スチームが
アイロン台を通過しやけどをするおそれがあります。

※製品を落として亀裂や破損をした場合は、ご使用をやめてお買い求めの販売店に点検・修理依頼をしてください。

衣類スチーマーについて

知っておいていただきたいこと

- 生産組立の時に検査を実施していますので、水タンク内に水滴が付着している場合がありますが、異常ではありません。
- 布地を傷めないために。
低温表示の布地および熱に弱い布地には、目立たない部分に「ためしかけ」をし、必要に応じて「当て布」をしてください。
- 接着芯地などのりが付いているものにアイロンをかけるには。
必ず、「当て布」をして、アイロンかけをしてください。
- 本体を横向きにして使用するとスチームが出にくくなる場合があります。
その場合は、本体を縦向きにしてご使用ください。
- 水が少ないと突然スチームが強くなる場合があります。
- 初めて使用したときは多少のにおいが出る場合がありますが異常ではありません。
ご使用にともないなくなります。
- 室温や部屋の明るさによりスチームが見えにくくなる場合があります。

オートオフについて

スチームボタンを押さずに約10分たつと、自動的に「切」になります。

- オートオフにより「切」表示になった後、続けてご使用になるときには、温度設定をし直してください。
オートオフは「高」「中」「低」いずれかの温度設定にある時に動作します。

絵表示の見かたと温度の関係

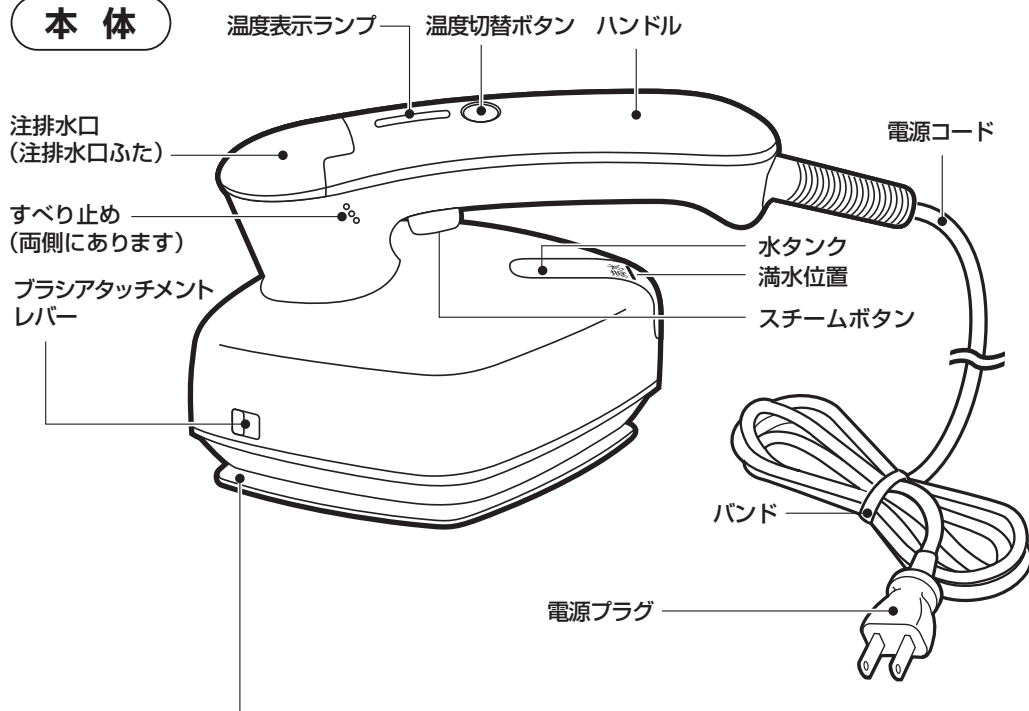
絵表示と温度の関係

繊維製品の絵表示				
衣類・布地の種類	アクリル アクリル系 ポリウレタン ポリプロピレン	絹・毛 ナイロン レーヨン ポリエステル	綿 麻	アイロンかけは できません
アイロンかけ				
設定温度	低	中	高	×
スチーム（設定温度：高）				
かけ面を衣類からはなす	○	○	○	×
かけ面を衣類にあてる	×	○	○	×
使えるまでの時間	約20秒	約25秒	約30秒	—

- 革製品類には使用できません。
- その他「スチーム禁止」などの表示があれば、その表示に従ってください。
- 混紡の場合は、低い方の繊維の温度に合わせてください。
- 衣類の絵表示が「」「低」「当て布」の表示があるものはかけ面を衣類からはなすか、ブラシアタッチメントを取りつけてご使用ください。
- 絵表示がない布地には、低温でのアイロンかけや、かけ面をはなしてスチームをあててください。

各部のなまえとはたらき

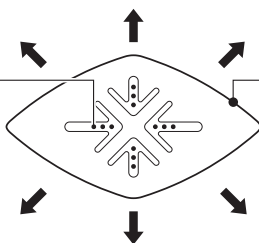
本体



かけ面

クロスラインスチーム

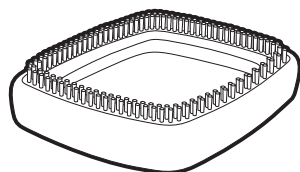
十字レイアウトの蒸気口で
幅広くスチームを噴射します。



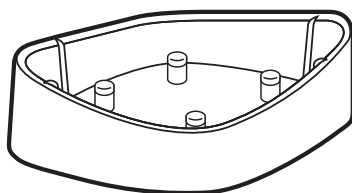
ダイヤフォルムベース

かけ面は全方向に動きやすく
手首の負担を軽減し、軽い力で
アイロンかけができます。

付属品



ブラシアタッチメント



スタンド



注水カップ(約70mL)

ランプ表示について

電源の「切」「入」や、設定した温度を確認することができます。

スチーム使用位置マーク

高
中
低
切

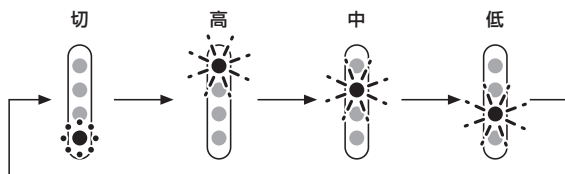
切替

温度切替ボタン

温度表示ランプ

- 電源プラグをコンセントに差し込むと「切」ランプが点灯します。(赤色)
- 温度切替ボタンを押すごとに高・中・低に切り替わります。設定したい温度に合わせるとランプが点滅します。(緑色)

アイロンとして：高・中・低
スチーマーとして：高・中



ブラシアタッチメントについて

衣類についた糸くず、綿ぼこり、髪の毛を取りはらいたいときに使用します。

- ブラシアタッチメントをつけると、かけ面が衣類に直接触れないので、テカリが気になる衣類や「低」「当て布」表示のある衣類に使用できます。

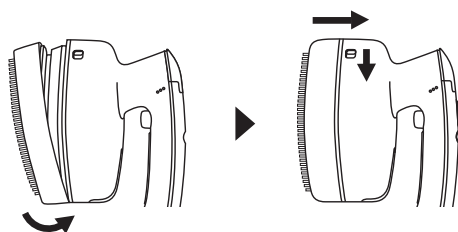
※アイロンとして使用するときには使えません。

⚠注意

やけどのおそれあり

ブラシアタッチメントの取り付け・取りはずしのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、かけ面が十分に冷めているときにおこなってください。使用中や使用後に高温部に触れないでください。

ブラシアタッチメントの取り付け方

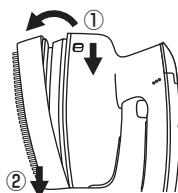


ブラシアタッチメントの突と
本体後ろの溝をひっかける。

本体のブラシアタッチメントレバーを
下げながらブラシアタッチメントをはめる。

ブラシアタッチメントのはずし方

※必ず本体・ブラシアタッチメントが十分に冷めてからおこなってください。

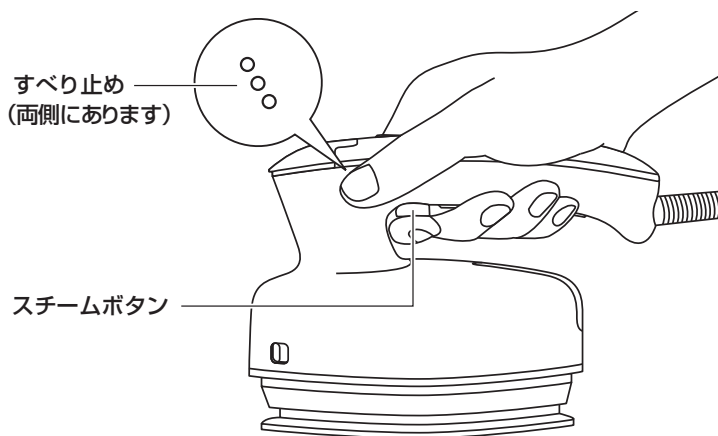


- ①本体ブラシアタッチメントレバーを下げながらブラシアタッチメントの前方をはずす。
- ②ブラシアタッチメントを下げて本体からはずす。

基本的な使い方

ハンドルのにぎり方

親指をハンドル横のすべり止め位置にそえて、その他の指でにぎります。
スチームボタンの位置に、ひとさし指を合わせてください。

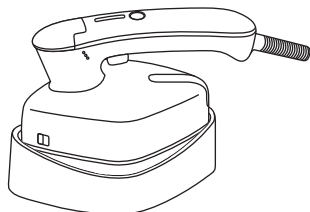


※右手・左手どちらでもご使用できます。

スタンドへの置き方

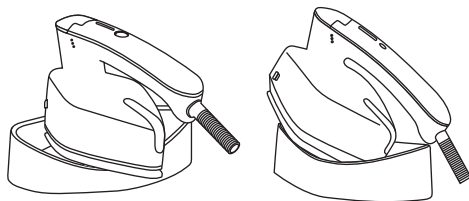
使用しないときは本体をスタンドに置いてください。
ブラシアタッチメントの装着にかかわらず置くことが可能です。

○正しい置き方



ブラシアタッチメント使用時/ブラシアタッチメント未使用時

×誤った置き方



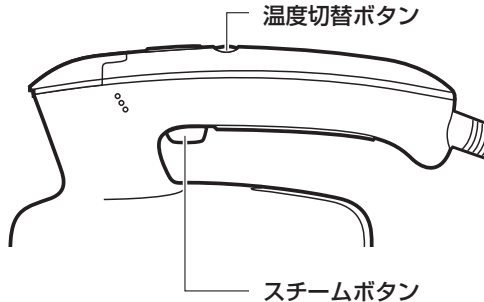
ななめに置く

片側だけ中に入っている

ご注意 ・不安定な場所や熱に弱いものの上に置かないでください。

スチームの出し方

温度表示ランプが点滅から点灯に切り替わってから、1度スチームボタンを押すと約1分間スチームが出続けます。1分経過すると、自動でスチームが止まります。再びスチームを出したい時は、もう1度スチームボタンを押してください。運転の途中でスチームを止めたい時は、スチームボタン、もしくは温度切替ボタンを押すと止まります。



- ・スチームボタンを押した後でもしばらくスチームが出ないことがあります。
 - ・スチームを止めた後も、スチームが出ることがありますので手や顔を近づけないでください。
 - ・スチームボタンを押していなくても少量のスチームが出ることがあります。
(本体に残っている水が蒸発するため)
 - ・スチームが出ている時は、ポンプが動作するため音や振動がします。
 - ・本体を激しく動かすと、湯滴が出ることがありますのでご注意ください。
 - ・連続してスチームを出すと、本体表面に水滴が付着することがあります。
- これはスチームが結露したものです。異常ではありません。

⚠注意

- ・スチームを手やひざにあてない。着用した衣類に使用しない
- ・高温部(かけ面・スタンド・ブラシアタッチメント)に手を触れない
- ・アイロン台使用時は、アイロン台の下に足を入れない



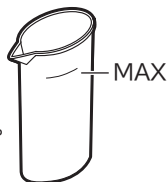
スチーマーとしての使い方

1 準備

注水カップのMAX位置まで上水道水を入れてください。

※上水道水以外のイオン水・井戸水は使用しないでください。

また、リネンウォーター・香料・アイロン仕上剤などを混ぜた水は使用しないでください。



2 注 水

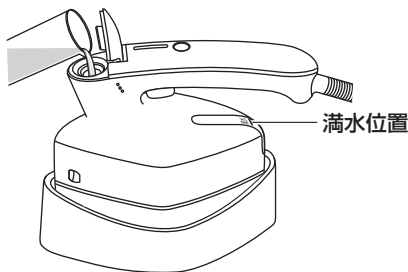
本体に水を入れ、注排水口ふたをしっかりと閉めてください。

※本体の「満水」位置以上は入れないでください。

水がこぼれた時はふきとってください。

※水を入れるときは本体をスタンドにのせてください。

※ふたの先端を押してしっかりふたを閉めてください。



3 通 電

本体をスタンドに置き、電源プラグをコンセントへ差し込んでください。

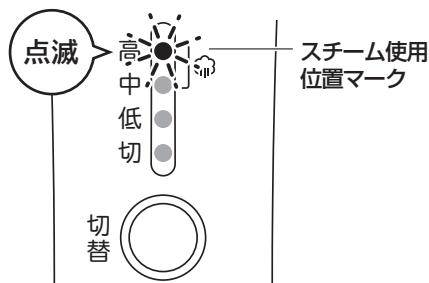
4 温度調整

温度切替ボタンを押し、「高」または「中」設定にしてください。

温度表示ランプが点滅します。

・「低」ではスチームは使用できません。

※温度表示ランプが点滅中は使用しないでください。



[高温設定時]

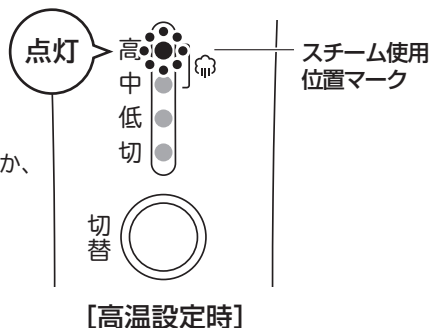
5 使用開始

温度表示ランプが点滅から点灯になったことを確認してスチームボタンを押して使用してください。
(1度スチームボタンを押すと約1分間スチームが出続けます)
( 9ページ)

途中でスチームを止めたいときは再度スチームボタンを押すか、温度切替ボタンを押してください。スチームが止まります。

衣類に応じてかけ面を衣類にあてたり、はなしたりしながらスチームをあててください。
絵表示の見かたと温度の関係 ( 5ページ)

水タンクの水が少なくなり、スチームが出にくになったら、電源を切り、電源プラグを抜いてから水を入れてください。



※スタンドに置く前に必ずスチームを止めてください。

⚠ 注意

- ・スチームを手やひざにあてない。着用した衣類に使用しない
- ・高温部(かけ面・スタンド・ブラシアタッチメント)に手を触れない
- ・アイロン台使用時は、アイロン台の下に足を入れない



※スチームボタン使用中、ポンプが動作するため音や振動がします。

オートオフについて

スチームボタンを押さずに約10分たつと、自動的に「切」になります。

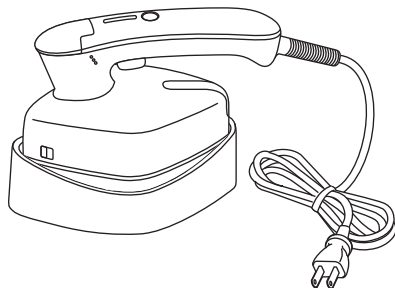
- オートオフにより「切」表示になった後、続けてご使用になるときには、温度設定をし直してください。
オートオフは「高」・「中」・「低」いずれかの温度設定にある時に動作します。

6 使用後

- ①温度切替ボタンを押して「切」にし、電源を切ってください。
- ②電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ③本体が冷めてから注排水口ふたを開け、水を捨ててください。
- ④電源コードを付属のバンドでまとめ、安定した場所で保管してください。

水を捨てても水タンク内に水滴が残りますが問題ありません。

しばらく使わないときは、タンク内を1度水道水でゆすぎ、水を全て捨てた後、注排水口ふたを開けて蒸発させてください。



ドライアイロンとしての使い方

1 通 電

本体をスタンドに置き、電源プラグをコンセントへ差し込んでください。

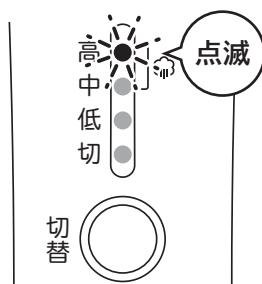
2 温度調整

温度切替ボタンを押し、布地に合った温度に設定してください。
温度表示ランプが点滅します。

※衣類の素材を確認してください。

絵表示の見かたと温度の関係(5ページ)

※温度表示ランプ点滅中は使用しないでください。



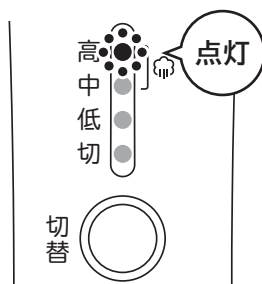
[高温設定時]

3 使用開始

温度表示ランプが点滅から点灯になったことを確認し、使用してください。

※温度設定後は約10分でオートオフがはたらき設定が「切」になります。

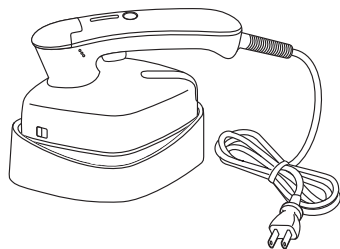
10分以上使用する場合は、再度温度切替ボタンを押して設定をしておいてください。(使用中に温度を切り替えた場合は、最後に温度切替ボタンを押した時から約10分後にオートオフがはたらきます)



[高温設定時]

4 使用後

- ①温度切替ボタンを押して「切」に設定し、電源を切ってください。
- ②電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ③本体が冷めてから注排水口ふたを開け、水を捨ててください。
- ④電源コードをまとめ、安定した場所で保管してください。



スチームアイロンとしての使い方

- ①10ページの1・2・3にならって注水し、本体をスタンドに置き通電してください。
- ②温度切替ボタンを押し、「高」「中」設定にしてください。温度表示ランプが点滅します。
・「低」ではスチームは使用できません。
- ③温度表示ランプが点滅から点灯になったことを確認して、スチームボタンを押して使用してください。
(1度スチームボタンを押すと、約1分間スチームが出続けます)(9ページ)
途中でスチームを止めたいときは再度スチームボタンを押すか、温度切替ボタンを押してください。スチームが止まります。
- ④タンクの水が少なくなり、スチームが出にくくなったら電源を切り、電源プラグを抜いてから水を入れてください。

※スタンドに置く前に必ずスチームを止めてください。

注意

- ・スチームを手やひざにあてない。着用した衣類に使用しない
- ・高温部(かけ面・スタンド・ブラシアタッチメント)に手を触れない
- ・アイロン台使用時は、アイロン台の下に足を入れない



※スチームボタン使用中、ポンプが動作するため音や振動がします。
※本体が冷めてから「注排水口ふた」を開け、水を捨ててください。

ご注意

- ・水を捨てるときは、水が十分に冷めてからおこなってください。
- ・水を捨ててもタンク内に水滴が残りますが問題ありません。

注意

やけどのおそれあり

スチーム量が多いので下向きにしてスチームを出し続けると、衣類に水がたれることがあります。スチームは出し続けず適度にご使用ください。

上手な使い方

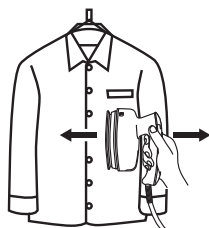
スチーマーとして使うとき

■本体の動かし方

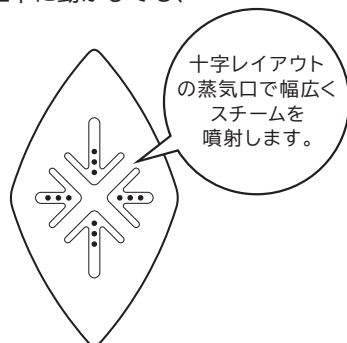
「クロスラインスチーム」により本体を垂直に持ったまま、上下に動かしても、左右に動かしても効率よくスチームが当たります。本体を傾ける必要がなく、手首への負担を軽減します。



上下移動

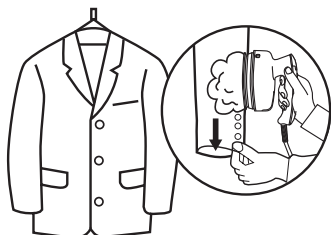


左右移動



■シワを伸ばすには

衣類の端を引っ張りながら、本体かけ面をなでるようにあててください。スチームはかけ面の中央から広がります。ゆっくり大きく動かしてください。



■ハンガーにかけた衣類には

上から下方向へスチームをあてると効果的です。



■テカリが気になる衣類には

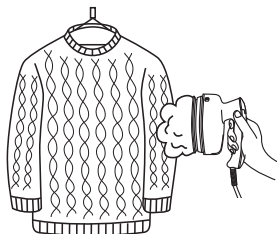
ブラシアタッチメントを取りつけ、かけ面が直接衣類に触れないようにしてください。衣類についた糸くず、綿ぼこり、髪の毛なども取りはらうことができます。



ブラシアタッチメント

■かけ面をあてられない衣類・ふっくらさせたい衣類には

かけ面を衣類からはなし、スチームをたっぷりあててから形を整えてください。



アイロンとして使うとき

■アイロンかけは低い繊維温度の布地から順序よくかけてください。

低温のものから高温のものへ順番に布地に合った温度でかけます。

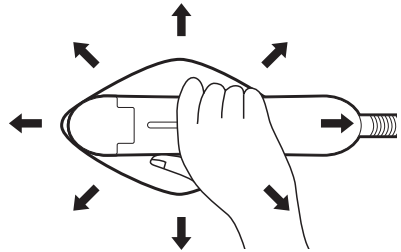
高い温度から低い方の温度設定に切り替えると、かけ面の温度が下がるまで時間がかかります。



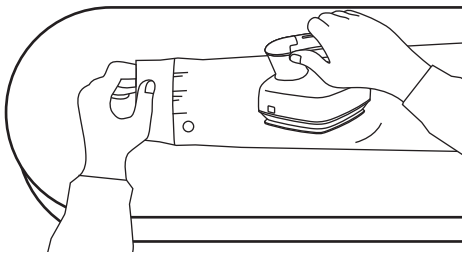
■本体の動かし方

かけ面は全方向へ動きやすい「ダイヤフォルムベース」です。

手首の負担を軽減し、軽い力でアイロンかけができます。



■伸びにくいシワを伸ばすにはスチームアイロンとしてシワを伸ばしてください。



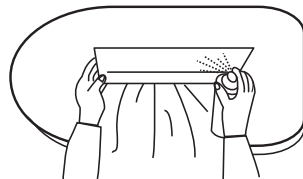
スプレーのりを使用する場合

■ワイシャツの襟、カフスなどの仕上げに使います。

- 洗濯物をよく乾かしてからスプレーのりをかけ、必ずドライでアイロンかけをします。

少し固めに仕上げたいときは…

スプレーのり ➔ アイロンかけ (ドライ) をくり返します。



※一度に多量のスプレーのりをかけると、かけ面にこびりつく原因となります。

- ご使用後はかけ面が十分に冷めてから濡れた布でかけ面についたのりをふきとってください。

お手入れ (電源プラグを抜き、よく冷めてから)

お手入れは、使用後60分以上十分本体が冷めてから行ってください。

■本体やかかけ面などの汚れは、

- やわらかい布でふいてください。
- がんな汚れは、中性洗剤を含ませた布でふいてください。
※みがき粉・シンナーなどは使わないでください。

■スチーム穴がつまったときは、

- つまようじで掃除したあと、高温に加熱してから、ご不用の布の上でスチームを2～3分間出してください。
- スチーム穴に付着した水滴は、乾いた布でふきとってください。

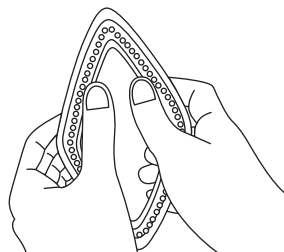
■しばらく使わないときは、

- タンク内を1度水道水でゆすぎ、水を全て捨てた後、注排水口ふたを開けて蒸発させてください。

■ブラシが汚れたときは、

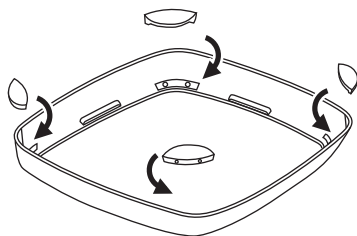
- 水で汚れを落としてください。洗った後は、自然乾燥をしてよく乾かしてください。
それでも汚れが気になる方は購入店にて新たにブラシをお買い求め、交換してください。

ブラシの取り外し方

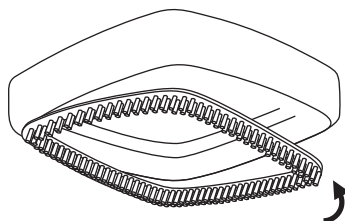


ブラシを図のように押し込み
取り外してください。
シリコンが外れた場合は元の位置に
取り付けてください。

ブラシの取り付け方



①シリコンが4箇所取り付けられているか
確認してください。



②ブラシアタッチメントの底から、ゆっくりと
ブラシを取り付けてください。

故障かな？と思ったら

下記の事をお確かめになり、それでも調子が悪いときはただちにご使用を中止し、お買い上げの販売店またはご相談窓口(☎ P19)にお問い合わせください。

症 状	調べるところ・対処方法	参照ページ
かけ面が熱くならない ランプが点灯しない	●電源プラグをコンセントにしっかり差し込み、「高」「中」「低」選択後、ランプが点滅から点灯に変わったことをご確認ください。(点滅中は給電中です)	7・10・12
スチームが 少ない・出ない	●「高」または「中」設定になっているかご確認ください。 ●水タンクの水が十分かご確認ください。 ●かけ面の温度が低い時や使い始めはスチームの出が少なくなることがありますが、しばらくすると戻りますのでお待ちください。 ●スチーム噴出口にゴミや水あかが詰まっていないかご確認ください。	9・10・11
水漏れ・ 湯滴が出る	●温度表示ランプが「高」または「中」設定で点灯しているかご確認ください。 ●注排水口ふたがしっかり閉まっているかご確認ください。 ●本体を激しく動かすと湯滴が出ることがありますのでご注意ください。	9・10
布地が焦げる	●アイロンとして使用する時は、温度設定を布地に合わせた適温にするか、「当て布」をしてください。 選択した衣類に洗剤が残っている場合、アイロンの熱を加えると、衣類が茶色になることがあります。 ●「給表示の見かたと温度の関係」をご確認ください。 ※衣類をよくすすぎ、乾かしてからアイロンかけをしてください。 洗濯のりのつけすぎにもご注意ください。	5・12・13
スチーム噴出時に 白い粉が出る	●水に含まれる鉱物質などが出るもので異常ではありません。 ●白い粉が衣類についた場合は、払うと取れます。	—
温度表示ランプ (高・中・低・切)が 3つ、4つ同時に 点滅する	●本体の故障です。 お買い上げの販売店またはご相談窓口(☎ P19)にお問い合わせください。	—

仕様

この製品は、日本国内家庭用です。電源電圧や、電源周波数の異なる海外では、使用できません。
またアフターサービスもできません。

型 式	CSI-RX2
電 源	AC(交流)100V(50-60Hz共用)
消 費 電 力	950W
水 タ ン ク 容 量	70mL
温 度 調 節	低(約100℃)、中(約135℃)、高(約170℃)
温度過昇防止装置	温度ヒューズ(240℃) 2個
大 き さ	幅約180mm 奥行約100mm 高さ約155mm(スタンド設置時)
	幅約175mm 奥行約85mm 高さ約125mm(本体のみ)
質 量 (重 さ)	約690g(本体のみ)
コ ー ド 有 効 長	約2.5m
付 属 品	ブラシアタッチメント、スタンド、注水カップ

保証とアフターサービス(必ずお読みください)

アフターサービス等について、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店またはご相談窓口(☎P19)にお問い合わせください。

① 保証書	保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。 保証期間はお買い上げの日から1年です。	
② 修理を依頼される ときは「持込修理」	保証期間中は	修理に際しましては保証書をご提示ください。 保証書の規定に従って修理させていただきます。なお、修理内容によっては商品交換にて対応させていただきます。
	保証期間が 過ぎているときは	修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。なお、修理内容によっては、有料にて商品交換で対応させていただきます。
③ 補修用性能部品の 保有期間	衣類スチーマーの補修用性能部品を製造打ち切り後5年間保有しています。 ●補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。	
④ ご転居されるときは	ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。	
⑤ 修理料金のしくみ	修理料金=技術料+部品代などで構成されています。	
	技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
	部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

ご相談窓口

家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理に関するご相談窓口

TEL 0120-3121-68
携帯電話・PHSから 0570-0031-68 (有料)
FAX 0120-3121-87
(受付時間)9:00~19:00(月~土)、9:00~17:30(日・祝日)

商品情報やお取り扱いについてのご相談窓口

TEL 0120-8802-28
携帯電話、PHSからもご利用できます。
FAX 0120-3121-34
(受付時間)9:00~17:30(月~土)、9:00~17:00(日・祝日)
年末年始は、休ませていただきます。

- 「出張修理」および「部品購入」については、上記ご相談窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社や協力会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。
- 保証期間中の修理依頼時は、保証書をご提示ください。
- 上記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

愛情点検



長年ご使用の衣類スチーマーの点検を！

ご使用の際、
このような
症状はあり
ませんか？

- 電源プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- かけ面やハンドルが異常に熱い。
- その他の異常、故障がある。

ご使用
中 止

故障や事故防止のため、使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜き、必ず販売店にご連絡ください。点検・修理についての費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。また商品の色調は、印刷のため異なる場合もあります。あらかじめご了承ください。

◎ 日立コンシューマ・マーケティング株式会社 リビングサプライ社

〒105-8413 東京都港区西新橋2-15-12

日立衣類スチーマー保証書 持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。

お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

なお、商品をお買い上げの販売店(修理申出先)やメーカーへ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。

お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

型式	CSI-RX2		※お買い上げ日			保証期間
			年	月	日	本体：1 年
※お客様	ご住所	〒 -				
	ご芳名	様				
※販売店	住所	〒 -				
	店名	TEL				

※印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。

(イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。

(ロ) お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。

(ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)による故障及び損傷。

(ニ) 一般家庭用以外(例えば業務用等)の長時間使用及び車両(車載用を除く)、船舶への搭載)に使用された場合の故障及び損傷。

(ホ) 腐食、スチーム穴づまりによる故障および損傷。

(ヘ) 上水道水以外の使用による穴づまり・故障、衣類変色などの障害。

(ト) プラスチックの表面(かけ面のコーティングも含む)及びメッキの摩耗や打痕による損傷。

(チ) 業務用に使用されて生じた故障または損傷。

(リ) 本書のご提示がない場合。

(ヌ) 本書に型式、お買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

2. この商品について出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。

3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。

4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼にできない場合には、ご相談窓口(※19 ページ)にご相談ください。

5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

6. 本書は日本国内においてのみ有効です。

Effective only in Japan.

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口(※19 ページ)にお問い合わせください。

●保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」(※18 ページ)をご覧ください。

◎日立コンシューマ・マーケティング株式会社 リビングサプライ社

〒105-8413 東京都港区西新橋2-15-12

電話 03(3502) 2111